



## 「1年起震車体験」

生活指導主幹 岡田哲也

10月2日（月）、地震が発生したことを想定した避難訓練を行いました。その場で安全に自分の身を守るシェイクアウト訓練を行いました。その後、1年生は起震車体験を行いました。起震車体験は机の下に頭を隠し、両手で机の脚をしっかりと掴んだ状態からスタートしましたが、手が机の脚から離れてしまいそうなほど揺れは大きく、生徒一人一人が真剣に取り組んでいました。実際の地震と同等の体験をすることで、「安全に自分の身を守る」ということを考えるための良い経験になったことと思います。

毎月1回の避難訓練では、自分の身を守る行動（自助）と集団行動（共助）の大切さを学んでいます。今後もどのような活動場面においても身を守る行動や、落ち着いて避難をすることができるように訓練を行っていきます。



## 「校内実習や現場実習に取り組む上で大切なこと」

進路指導部主任 根来茂憲

10月23日（月）から、「Ⅱ期実習期間」が始まりました。1年生は校内実習、2年生と3年生は引き続きトライアウト実習や現場実習に取り組みます。10月19日（木）、1年生は7グループに分かれて職場見学に行きました。先輩たちが真剣に仕事に向き合う姿に進路について考える機会になりました。

そこで、10月13日（金）の実習激励会で大切なことを2つ再度お伝えいたします。「挨拶をしよう、相談しよう」「やります、やってみよう、続けよう」ということです。挨拶は、言った自分も聞いた相手も元気にする力があります。また、挨拶ができる相手には、困ったときに相談しやすいということもお話しました。失敗して怒られるのが怖くて、「やらない」ことを選ぶのではなく、「やってみる、続ける」ことで必ずできることが増えるというメッセージも送らせていただきました。これらの大切な2つの行動は、今からできることです。そして、大人や子供、年齢など一切関係なく実践すべき大切なことです。後回しにせずに、将来の進路決定に向けて、早速できることからやってみましょう。



学校便りは音声でも確認できます。



学校便りは配布時期と学校サイト掲載日が変わる場合があります。